

イルカンダ（マメ科）種子の本州への漂着初記録

久保田 信*・永益 英敏**・中西 弘樹***

Shin KUBOTA, Hidetoshi NAGAMASU and Hiroki NAKANISHI: The first record of a stranded seed of *Mucuna macrocarpa* (Leguminosae) from Honshu, Japan

イルカンダ *Mucuna macrocarpa* WALL. は東ヒマラヤ、ミャンマー、タイ、インドシナ、中国南部、台湾、日本に分布する大型の木本性つる植物で、日本では九州（大分県南海部郡蒲江町、鹿児島県馬毛島）および琉球（奄美諸島と沖縄諸島）に分布する（大橋, 1989; OHASHI, 2001）。本種が属するトビカズラ属（クズモダマ属）は漂着種子として知られており、琉球地方でも数種の漂着種子が確認されているが、九州以北ではイルカンダ1種のみが長崎県五島列島小値賀町と県本土の三和町で中西により発見された記録があるだけである（NAKANISHI, 1983; 中西, 1990, 1991, 1999）。

和歌山県白浜町沿岸にはこれまで南方より黒潮に運ばれて漂着する6種の植物果実や種子（アダン、ココヤシ、ゴバンノアシ、ニリスホウガンヒルギ？、ホウガンヒルギ、モモタマナ）が記録されている（久保田ほか, 1999; 桧山ほか, 2003; 久保田, 2003; 久保田ほか, 2004）が、今回、7種目の南方系の漂着果実・種子種としてイルカンダを記録する。本報告は本州初記録となるものでもある。

漂着場所 和歌山県西牟婁郡白浜町瀬戸漁港最奥部のコンクリート性の船揚場の波打ち際

発見年月日 1999年9月14日

大きさと形状など 長径29mm、短径22mmの扁平な腎円形で、中央附近が両側とも少し凹んでいた（図1）。表面は黒く、滑らかで、縁全体の長さ86mmの内の79mmをへそが占めていた。長崎県に漂着した既知の2種子（中西, 1991）と大きさを比較すると、今回の種子は長くて薄かった（表1）。

注記 イルカンダの自生しない長崎県と和歌山県でもその漂着種子が見つかったことから、南方系果実や種子が漂着する他の多くの場所でも、今後、本種の種子が発見される可能性があることを指摘しておきたい。

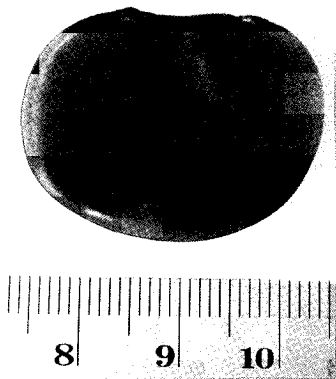


図1 和歌山県白浜町へ漂着した本州初記録のイルカンダ

Fig. 1. *Mucuna macrocarpa* stranded at Shirahama Town, Wakayama Pref., Japan as the first record from Honshu, Japan.

表1 本州および九州に漂着したイルカンダ種子の大きさの比較

Table 1. Comparison of dimensions of *Mucuna macrocarpa* seeds stranded on seacoasts of Honshu and Kyushu, Japan.

漂着地点	長径 (mm)	短径 (mm)	最大の厚さ (mm)	文献
長崎県小値賀町	24	20	8	中西 1991
長崎県三和町	23	20	9	中西 1991
和歌山県白浜町	29	22	7	本報告

* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学瀬戸臨海実験所
Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan
** 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館
The Kyoto University Museum, Yoshida-honmachi, Sakyo-ku, Kyoto 606-8501, Japan
*** 〒852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学教育学部生物学教室
Department of Education, Nagasaki University, Bunkyo-machi, Nagasaki 852-8521, Japan

引用文献

- 桧山嘉郎・久保田 信・戸部 博・中西弘樹. 2003: 変わった型のココヤシの和歌山県白浜町番所崎への漂着記録. 漂着物学会誌, **1**, 29-30.
- 久保田 信. 2003: 南方系植物果実複数種の和歌山県白浜町番所崎への稀な漂着記録. 漂着物学会誌, **1**, 31-32.
- ・岡村親一郎・湊 宏・中西弘樹. 2004: 和歌山県田辺湾周辺海域に最近漂着したモダマ(マメ科)の種子. どんぶらこ, (9), 2.
- ・田名瀬英朋・桧山嘉郎. 1999: 和歌山県田辺湾に漂着したゴバンノアシ(サガリバナ目, サガリバナ科). 南紀生物, **41** (2), 129-130.
- NAKANISHI, H. 1983: Drift fruits and seeds on the coast of the Yaeyama Islands, southernmost of Japan. J. Phytogeogr. Taxon, **31** (1), 22-30.
- 中西弘樹. 1990: 海流の贈り物. 254pp. 平凡社, 東京.
- . 1991: 西九州における熱帯起源の果実と種子の漂着記録. 長崎女子短期大学紀要, **15**, 25-29.
- . 1999: 漂着物学入門. 211 pp. 平凡社, 東京.
- 大橋広好. 1989: マメ科. in 佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫(編), 日本の野生植物, 木本I, 229-256. 講談社, 東京.
- OHASHI, H. 2001: Leguminosae (FABACEAE). in K. IWATSUKI, D. E. BOUFFORD and H. OHBA (eds.), Flora of Japan IIb, 213-279. Kodansha, Tokyo.

Summary

One seed of *Mucuna macrocarpa* (Leguminosae) stranded at Shirahama Town, Wakayama Prefecture, was reported as the first record from Honshu, Japan, together with comparison of dimensions of two other known ones which had been reported from Nagasaki Prefecture, Kyushu, Japan.

追記

本報文の校正中に、相模湾沿岸の逗子海岸にイルカンダと同定された漂着種子が報告されていることに気付いた(池田 等・倉持卓司・竹内慎平. 2003: 相模湾に漂着したイルカンダの種子. 潮騒だより, (14), 11)。

しかし、この種子は $33 \times 31 \times 18\text{mm}$ で、中央部が厚く盛り上がり、イルカンダとしては短径が大きく、また厚い。

再検討したところ *Mucuna* 属でないことが判明した。